

自立支援局だより

(旧：更生訓練所だより)

自立訓練部の並木祭

去る、10月26日(金)、27日(土)、国立障害者リハビリテーションセンターと国立職業リハビリテーションセンター共同主催による、第33回リハ並木祭が開催され、今年度も訓練紹介、地域団体の企画、クラブ紹介、模擬店、講堂でのステージ企画などで盛り上がりました。

自立訓練部では焼きそばの模擬店と訓練紹介を出展しました。そのうち、毎年恒例となりつつある焼きそばの模擬店は、在籍する視覚障害、高次脳機能障害、頸髄損傷の利用者が障害の枠を越えてグループワークを重ね、打合せと準備を進めました。利益還元、お客様に喜んでもらえることを第一に、安さとおいしさにこだわり、具材、味付け、販売価格や方法、店舗のレイアウト決めから、看板作成、前日の食材のカット作業まで利用者、職員全員が協力して行いました。

当日は開店と同時に「元祖並木焼きそば」は200円でおいしいとの口コミで長蛇の列となり、準備した600食を大好評のうちに完売することができました。日々の訓練とは異なる達成感を利用者、職員全員で味わうことができました。

並木祭の後、売上金の使途についてもグループワークで話し合いました。その中で「自分たちのためではなく、人の役に立てたい」という意見が多く出され、震災復興プロジェクト、京都大学iPS細胞研究基金、盲導犬協会へ寄付することとなりました。その後、各機関から感謝状をいただき、これもまた、何ものにも代えがたい貴重な経験となりました。



左上:焼きそば 右上:グルメストリート
下:模擬店の看板とテント

自立支援局だより(第21号 2013.3発行)

目次

- [【利用者紹介】 がんばってます](#)
- [【就労移行支援課】 先輩の働く会社を見学してきました](#)
- [【総合相談支援部 総合支援課】 今日のメニューは何かな？](#)
- [【理療教育課】 シリーズ 理療教育の科目紹介Vol.7 病理学概論](#)
- [【総合相談課】 利用者募集のご案内](#)

[自立支援局だよりトップに戻る](#) | [自立支援局トップに戻る](#)

利用者紹介“がんばってます”

各訓練を利用しているみなさんから日々の訓練について感想をいただきました。

「仕事もプライベートも、生活の質を向上させたい！！」

自立訓練(機能訓練) 佐々木 彩奈さん(埼玉県出身)



「仕事もプライベートも、生活の質を向上させたい！！」こんな思いから、支援施設の見学、会社との休職の調整を始めました。

私は、視覚障害があり、「見えにくい」という状況の中、なんとか自分なりの工夫をしながら、一生懸命生活をしていました。

仕事では音声ソフトを導入頂いて、以前より少し楽になっていましたが、この音声ソフトをもっと使いこなしたい！日常生活、移動ももっと安全に効率よく行いたい！それならば、集中的に時間を取って、その道のプロの方たちから知識や技術を学びたい！というのが自立訓練を利用する私の動機付けでした。

訓練では、音声ソフトを利用してのIT機器操作、白い杖を使用しての歩行、見えづらい人のためのロービジョン(見え方の理解、拡大読書器等の補助具の活用方法など)、調理、家事など、仕事と生活に必要な項目を行って頂いており、体育の時間があるのも私にとっては嬉しいことでした。また、お化粧品も訓練でチャレンジしています。鏡を見なくたって、工夫をすればおしゃれだって楽しめるんですよ。

個人の需要に応じて適切に訓練計画を立てて頂いているのが大変ありがたいです。こちらでお世話になっている間は、環境を思いっきり利用して、楽しみたいと思っています。

「患者さんの痛みが分かる治療家に」

就労移行支援(養成施設) 高橋 健児さん(東京都出身)

私は今、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師になるための訓練を行っています。

訓練内容と言いますと、暗記することが非常に多く、またメカニズムの理解も要求されるので、勉強漬けの日々です。しかし、嬉しいことに、ドラマなどで飛び交う医学用語を聞いても理解できるという知識の自己成長を感じる事もあり、大変充実しています。

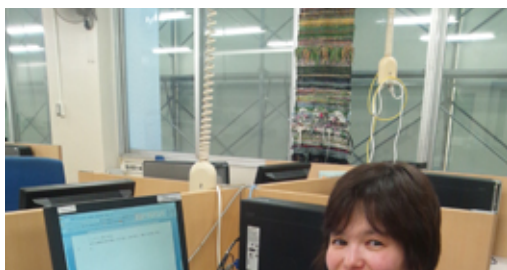
今は同じ目標を持つ、同じ視覚に障害を持つ仲間がいて、良い雰囲気の中で学ぶことができます。私が学生の頃は、勉強と(苦痛)は同義語でしたが、今は(楽しい)が同義語になりつつあります。そう思わせるきっかけを作って頂いた国リハにはただ感謝するばかりです。

「人事を尽くして天命を待つ」私の座右の銘です。人体の精密かつ合理的な構造を勉強し、施術の奥深さに触れることで治療家という仕事は、実は私に与えられた天命であるようにも思えてきました。病気に苦しむ患者さんに寄り添い、励まし、そして真心のこもった治療ができるよう、来年に迫る国家試験合格と就労にむけて人事を尽くしています。



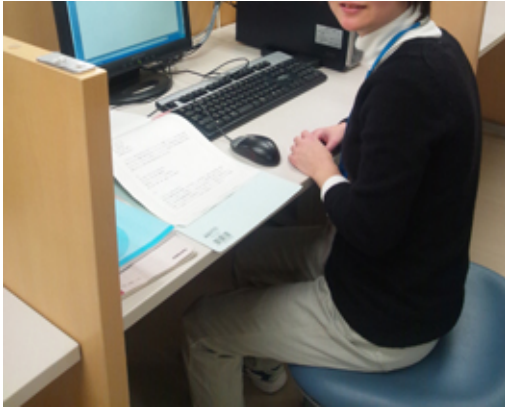
「“働きたい”気持ちをかたちに」

就労移行支援 工藤 千鶴さん(埼玉県出身)



私は、2010年4月に脳梗塞で倒れ、右半身麻痺と失語症となりました。入院した当初は車椅子を使用していましたが、リハビリの訓練の成果もあって、今は杖を使用して歩行しています。

国立障害者リハビリテーションセンターの就労移行



支援の訓練を知ったのは、地元の障害者就労支援センターからの紹介がきっかけです。訓練を受けて技術を身につけ“働きたい”という強い思いがあり紹介して頂きました。現在、ワードやエクセルでの入力作業等の事務訓練と封筒へのラベル貼りやゴム印押しなどの作業訓練を受けており、充実した毎日を過ごしています。

私は環境に恵まれており周囲のサポートがあって、訓練に取り組んでいます。

障害があっても、“働きたい”と思う気持ちがあれば、少しずつですが就職に結びついてくのではないかと感じています。

[目次](#) | [次頁を読む](#)

[自立支援局だよりトップに戻る](#) | [自立支援局トップに戻る](#)

先輩の働く会社を見学してきました

就労移行支援課

平成25年1月に株式会社エム・エル・エス(東松山市)の見学に利用者20名、職員6名で行ってきました。牛井で有名な株式会社松屋フーズの特例子会社として、全国の店舗のユニフォーム等のクリーニングをするランドリー事業やリサイクル事業・洗剤事業等を展開しています。従業員は120名の内、55名の障がい者が働いています。当センターからは、就労移行支援の修了者2名が働いています。



写真(1)笑顔で対応の岩田さんと宮腰常務

宮腰常務:

「障害者だから、健常者だからといって分け隔てしていません。誰もが向上心を持って取り組んでほしい。ただ、個人の状況に合わせた作業内容や環境、勤務体系などについては相談しながらやっています。」とのお話がありました。

修了者:岩田さん(ランドリー部門)

就職4年目。「最初は車椅子に乗って実習を受けました。この会社に入社したいと思い車椅子から立ち上がる決心をしました。今は足の装具も付けていません。通勤も仕事も一日中立って働いています。」という話に驚きの声が上がりました。

修了者:竹内さん(洗剤部門) 就職2年目。「会社近くのアパートで一人暮らしをしています。」一人暮らしの大変なことは?との質問に「お金のやり繰りと食事に気がつかいます」との話があり、忘れがちな生活の大切さを知ることが出来ました。

「やりがいを感じる時はどんな時ですか」という質問に、「各店舗で、きれいなユニフォームを着て接客しているのを見ると、自分たちのやっている仕事はまちがいない。という自信が持てます。」との先輩からの力強い返答に利用者も頑張りたいという気持ちももてた見学となりました。



写真(2)洗剤部門で働く竹内さん(左)



写真(3)ランドリー部門の説明を受ける利用者

[前頁を読む](#) | [目次](#) | [次頁を読む](#)

[自立支援局だよりトップに戻る](#) | [自立支援局トップに戻る](#)

今日のメニューは何かな？

総合相談支援部 総合支援課

利用者のみなさんへ提供している給食と食堂の様子をご紹介します。

食堂の様子

訓練の話をしたりプライベートの話をしたり。利用者のみなさんが集まる食堂はいつもにぎやか。楽しい食事の時間が流れます。


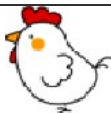


選択メニュー

この日は選択メニューの日。

揚げ出し豆腐蟹あんかけと鶏つくねのどちらかお好きな方をどうぞ！

その他にわかめご飯・じゃが芋煮・ピーナッツあえ(インゲン)・フルーツとバランスばっちり。

 <p>揚げ出し豆腐蟹あんかけ</p>	 <p>鶏つくね</p>



【献立表】								
常食	2019年1月27日(日曜日)	2019年1月28日(月曜日)	2019年1月29日(火曜日)	2019年1月30日(水曜日)	2019年1月31日(木曜日)	2019年2月1日(金曜日)	2019年2月2日(土曜日)	
朝食	味噌汁(納豆) 三色納豆 切干大根の煮物 味噌のり 牛乳	味噌汁(玉葱・シソ) 鶏ささぎ 温野菜 納豆 福もみ(キャベツ) 魚油、たくあん、牛乳	味噌汁(もやし・油揚げ) ハムエッグ モンスベツカツレツ 納豆 鶏ささぎ、おかわあえ(おむね人形) おりかけ(瀬戸風味) 牛乳	味噌汁(インゲン) 鶏ささぎ 温野菜 納豆 福もみ、おかわあえ(おむね人形) 牛乳	味噌汁(特ハク) 味噌汁(たまご) 温野菜 納豆 鮎水巻 ぶじきの煮物(油揚げ) 漬物(しば) 牛乳	味噌汁(かぶ) 鶏ささぎ 温野菜 納豆 シテーゼ(トウモロコシ) 魚油、うずら豆甘露 牛乳	味噌汁(豆蔵・葱) 鶏ささぎ 福もみ(キャベツ) 漬物(つばき) 牛乳	
昼食	魚の塩焼き 煮物(草子) ゆかりあえ 味噌汁(豆腐・小松菜)	餅餅 八宝菜 鶏シウマイ(かにか) とり湯浸し わかめスープ	ハイチライス 野菜サラダ フルーツ	五目炒飯 卵焼き 中華風サラダ フルーツ	鶏ハンバーグサンド パン パン(大盛) 中華風サラダ フルーツ	ちゃんぽん 肉まん 中華風サラダ	親子丼 サラダ(レタ・トマト) ほうろく漬 味噌汁(ナ豆)	
夕食	ドライカレー ごぼうサラダ フルーツ	餅餅 とりの栗味(ノ) ナポリ 茶碗蒸し 大根おろし フルーツ	餅餅 鶏かき(チキン) 揚げ電子 ナポリ 鶏ささぎ 鶏ささぎ 鶏ささぎ 鶏ささぎ	餅餅 松風焼 鶏ささぎ(チキン) 納豆(おむね) おかわあえ(おむね) おりかけ(白米) かけ汁	餅餅 さわらぎ(チキン) ソテー(チキン) ジャガイモ(おむね) 中華風おろし 味噌汁(生揚げ)	餅餅 天ぷら(イカ・エビ) 大根おろし 天ぷら 煮物 ごまあえ(インゲン) フルーツ	餅餅 鮭フライ ソテー(チキン) 五目きんぴら ごまだれかけ フルーツ	
1764+	2209cal	2209cal	2209cal	2209cal	2209cal	2209cal	2209cal	
蛋白質	88.0g	89.0g	87.3g	89.4g	86.0g	88.4g	86.0g	
脂質	56.0g	59.5g	60.7g	62.7g	76.3g	59.0g	57.0g	
炭水	351.6g	300.0g	344.5g	300.4g	341.3g	302.4g	348.1g	
食塩	10.7g	10.9g	10.3g	12.4g	12.7g	16.5g	10.3g	

献立表の一例です。
パンや麺や丼など、バラエティー豊富なメニューと笑顔でみなさんをお待ちしています。



[前頁を読む](#) | [目次](#) | [次頁を読む](#)

[自立支援局だよりトップに戻る](#) | [自立支援局トップに戻る](#)

病理学概論

1 はじめに

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の資格取得のために必要な科目に病理学概論という科目があります。病理学とは、疾病の原因を追究し、疾病の成り立ち・症状・経過・死の原因などを究明する学問です。端的に言うと、病の理(ことわり)、つまりは病気の原理を知る学問であります。



2 病理学の立ち位置

正常な人体の構造や働きを学ぶ基礎科目、病気の名称、症状および治療法などを学ぶ応用科目が必修科目としてありますが、病理学は、基礎科目と応用科目の架け橋的な立ち位置であると思ってもらえば良いと思います。

3 分類することの大切さ

病理学では、正確な病態把握をするために、様々な観点から病気の種類、原因、症状を分類するという前提があります。例えば、ある病気があったとします。それが、産まれる前に生じたものなのか、あるいは、産まれてから生じたものなのか。いわゆる先天性か後天性かというように。すると、病理学は病気の分類をすればいいという理屈になってしまうのですが、残念ながらそうではありません。しかし、分類ができるということは、つまりその病気の本質を理解しているからこそ出来るという高度な技術なのです。このことが病理学という科目を敬遠してしまう利用者の方が多い一因になっているものと思われます。

4 終わりに

病理学は直接、我々の臨床現場などにおいて残念ながらあまり必要を感じない科目かもしれませんが、病気で苦しむ患者さんを診る我々にとっては、その苦しみの根源を知ることは必要不可欠であると考え、病の理に迫れるよう授業を展開しています。

[前頁を読む](#) | [目次](#) | [次頁を読む](#)

[自立支援局だよりトップに戻る](#) | [自立支援局トップに戻る](#)

利用者募集のご案内

総合相談支援部 総合相談課

当センターでは、生活の幅を広げたい方や、就労を目指す方を随時募集しています。それぞれ下記のサービスを実施しておりますので、利用を希望される方は、総合相談課までお問い合わせください。

1 当センターが提供する施設障害福祉サービス

サービスの内容	対象者	定員	利用期間	サービス内容
昼間実施サービス	自立訓練 (機能訓練)	40名	18ヶ月以内(頸髄損傷による四肢の麻痺その他これに類する状態にある方は最大3年間)	・移動訓練(歩行訓練) ・日常生活訓練(日常生活技術・各種機器操作等) ・コミュニケーション訓練(スクリーンリーダー操作、IT機器操作等) ・ロービジョン訓練(視覚補助具、光学的補助具の利用等)
	重度の肢体不自由(主に頸髄損傷等による四肢麻痺)のある方で、リハビリテーションの訓練効果が期待できる方			・医学的支援、看護、介護 ・理学療法 ・作業療法 ・運動療法 ・自動車訓練 ・職能訓練
	自立訓練 (生活訓練)	20名	24ヶ月以内	・生活リズムの確立(週間プランニング、日課時限管理等) ・生活管理能力の向上 ・社会生活技能の向上(日常生活訓練、移動訓練等) ・代償手段の獲得・作業耐性の向上
就労移行支援	主に身体に障害のある就労を希望する方で、新しい知識	100名	24ヶ月以内	・職業準備訓練 ・職場体験訓練 ・技能習得訓練(機械製図、電気・電子、織物、一般事

	や技能を習得して就労の見込まれる方			務、経理事務、事務補助、クリーニング等) ・実習 ・就労マッチング支援 (職場開拓、就職活動、フォローアップ等)
就労移行支援 (養成施設)	視覚に障害がある方で、資格を取得することで就労または自立が見込まれる方	170名	3年または5年	・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゆう師の国家試験受験資格取得に向けた学習。 ・就労マッチング支援 (職場開拓、就職活動、フォローアップ等)
施設入所支援	昼間実施サービスの利用者で、通所困難な方。	340名	昼間実施サービス提供期間内	・宿舎の提供 ・食事の提供 ・生活援助

2 利用開始日

就労移行支援	概ね毎月1回
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	概ね毎月1回
就労移行支援(養成施設)	毎年度4月上旬

<利用に関するお問い合わせ>

〒359-8555

埼玉県所沢市並木4-1

国立障害者リハビリテーションセンター 総合相談課

電話番号: 04-2995-3100(代表)

ファックス: 04-2992-4525(総合相談課直通)

Eメール: soudan@rehab.go.jp

ホームページ: <http://www.rehab.go.jp/index.html>

[前頁を読む](#) | [目次](#)

[自立支援局だよりトップに戻る](#) | [自立支援局トップに戻る](#)